

(3) 予測結果

① 土地の改変による個体の消失

ア) 個体の消失の有無

表-6.8.2(4)に予測対象種である48種の確認状況及び造成工事による生育個体の消失の有無についてとりまとめた。このうち改変区域内では確認されなかった重要な種は28種であり、改変区域内で確認された重要な種は20種である。これら20種の確認地点を図-6.8.2(2)～図-6.8.2(21)に示す。

改変区域外のみで確認された28種(タカウラボシ、ナンゴクデンジソウ、ムクイヌビワ、リュウキュウツチトリモチ、ナツノウナギツカミ、シマカナメモチ、モダマ、イソフジ、コショウインゲン、ヒレザンショウ、シンチクヒメハギ、ヤエヤマハマナツメ、コバンノアシ、イソマツ、オオバケアサガオ、イヌコウジュ、イトタヌキモ、カワツルモ、コスブタ、ミズオオバコ、ハイシバ、エンレイショウキラン、イモネヤガラ、タカツルラン、トサカメオトラン、カゴメラン、タカサゴサギソウ、ムカゴサイシン)については造成工事による生育個体の消失はないものと予測される。

改変区域内で確認された20種(ミヤコジマハナワラビ、カワリバアmaksシダ、シマオオタニワタリ、ハンゲショウ、アカハダグス、ガランピネムチャ、ハリツルマサキ、クサミズキ、リュウキュウコクタン、ヒジハリノキ、イシガキカラスウリ、タイワンアシカキ、ヤリテンツキ、ヤエヤマヤシ、ツルラン、バイケイラン、テツオサギサソウ、ヤエヤマクマガイソウ、コウトウシラン、アコウネッタイラン)については造成工事による生育箇所の改変により、改変区域内の生育個体が消失することが予測される。

なお、航空障害灯を設置する水岳、カタフタ山、タキ山東では、多数の重要な種の生育が確認されているが、事業の計画検討に当たり講じた環境保全配慮として、航空障害灯の設置工事に当たっては人力作業を基本とすることにより、大部分の生育個体は現状のまま生育可能となると考えられる。

イ) 個体群の存続

改変区域内の生育個体が消失することが予測される20種は、表-6.8.2(5)に示すとおり、種ごとに石垣島での分布状況、生育状況などを推定し、造成工事による個体の消失により、事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれの程度について検討を行った。

検討の結果、改変区域内の生育個体が消失することにより事業実施区域周辺の個体群が存続できないおそれがあると考えられる種は、ミヤコジマハナワラビ、ハンゲショウ、アカハダグス、ガランピネムチャ、クサミズキ、ヒジハリノキ、イシガキカラスウリ、タイワンアシカキ、ツルラン、バイケイラン、テツオサギソウ、ヤエヤマクマガイソウ、コウトウシラン、アコウネッタイランの14種であると予測される。